

カンボジアの安全なお産応援募金が始まってから約3ヶ月が経過しようとしています。保健センターを訪問したところ、ちょうど2月に生まれた子どもたちが母親に抱かれて乳児健診を受けに来ていました。その子どもたちと、お母さんを紹介します。(4/6)

## 【Cさん:保健センターにて出産し、産後検診のため訪問】

2017年2月11日 出生。初産。出生時体重2400g(2月11日)→乳児健診時4300g(4月6日)



「保健センターで出産したのは安全で何かあったらすぐに病院に搬送してもらえますからです。産後検診と乳児健診を受け、奨励ギフトをもらえてうれしいです。」



手袋と靴下は出産した時に配布された奨励ギフトセットのものです。実際に使ってもらえています！！



乳児健診:2か月で出生時から2kg増え、順調に成長しています。



産後検診 お母さんの産後の回復も順調です

## 【Pさん:保健センターにて出産し、産後検診のため訪問】

2017年2月16日 出生。7人目。出生時体重3500g(2/16) →乳児健診時5000g(4/6)

「家でのお産より保健センターで出産の方が安全なので、この保健センターで出産しました。」  
隣の娘さんも現在妊娠中。  
→



カンボジアの農村部人々が妊娠期から産後までの継続ケアの必要性を理解し、保健センターでのケアや分娩が定着化することを願っています。奨励ギフトセットが1人でも多くのお母さんと赤ちゃんに届くよう、引き続き募金をよろしくお願い致します。